一入淋しく成り行くようなれども終夜物語りける
中務侍従殿に問ひたまへば調やうく義之公恩をもて
なれ万民を撫育し給ひ[illegible]と申しけるに後
尚ほ中ゝ世に稀なる義之公近臣郡司を以て国事
を方切隔くなりて近臣の輩絶て寄附の様子可
とりくど用ひを立無沙汰万民を傷ましき老いる幼き
者までも嘆くなり其時分に相仕立て養育の方
絶て法ることなく中務近臣に成り呼ばれる
中ゝ[illegible]て国事の有様体に接者
は

法事には故中ゝ[illegible]今の国形十二年の所時越後国村上
て某に出れなきを相仕立て[illegible]人で軍の法毎に
恩を[illegible]の方物[illegible]事上志願
非ず和等根ゝ体有之に依て思立つ[illegible]全く
[illegible]中ゝ[illegible]常に[illegible]
の法[illegible]聊意恩の心[illegible]中者[illegible]
心[illegible]の常[illegible]意好を誠と思ひ近[illegible]者心無
[illegible]国中の[illegible]民 所時に安堵の思をなべ
意を以て按ずに義之公乃体方仕社用に退[illegible]の